

(再評価)

資料 6 - (1)
令和 5 年 度 第 1 回
関 東 地 方 整 備 局
事 業 評 価 監 視 委 員 会

横浜港国際海上コンテナターミナル 再編整備事業

令和5年8月1日
国土交通省 関東地方整備局

事業名 (箇所名)	横浜港 国際海上コンテナターミナル再編整備事業	担当課 担当課長名	港湾局計画課	事業 主体	関東地方整備局																																										
実施箇所	神奈川県 横浜市																																														
該当基準	再評価実施後一定期間(5年間)が経過している事業																																														
主な事業の諸元	<新本牧ふ頭地区> 岸壁(水深18m)、護岸(防波)、防波堤、荷さばき地、道路、荷役施設 <本牧ふ頭地区> (本牧BC) 岸壁(水深16m)、泊地(水深16m)、航路・泊地(水深16m)、航路(水深16m)、荷さばき地、荷役施設 (本牧D5) 岸壁(水深16m)(改良)、荷さばき地 (本牧CD) 岸壁(水深7.5m) (本牧A) 道路																																														
事業期間	事業採択	令和元年度	完了	令和13年度																																											
総事業費(億円)	3,800	残事業費(億円)		2,782																																											
目的・必要性	<目的> コンテナ船の大型化や船社間の連携による基幹航路の再編等、海運・港湾を取り巻く情勢が変化中、基幹航路に就航する大型船の入港や、増加するコンテナ貨物の取扱いに適切に対応し、我が国に寄港する基幹航路の維持・拡大を図るため、横浜港においてコンテナターミナルの再編整備を行う。 <必要性> ①コンテナ船の大型化への対応 ・近年基幹航路のコンテナ船の大型化が進展しており、現在、MC1/MC2を利用する「2M」アライアンスは、既に岸壁水深18mを必要とする船舶も横浜港に入港させた実績がある。 ・横浜港においては、国、港湾管理者、港湾運営会社が連携して進めてきた基幹航路の誘致の成果として、大型コンテナ船が就航する北米基幹航路や中南米航路の増便が実現した。 ・既存航路に投入されている船舶でも大型化が進んでいることから、国際ハブ港としての役割を果たすためには、大型化への適切な対応が必要である。 ②コンテナ取扱量の増加への対応 ・アライアンスの再編に伴う基幹航路と寄港地の絞り込みにより、今後国際トランシップ貨物量は増加することが見込まれるなか、港湾運営会社、港湾管理者、国の一体となったポートセールスの実施により、直近の横浜港における国際トランシップ貨物取扱量は増加傾向にある。 ・欧州航路の寄港が復活し、さらなる国際トランシップ貨物取扱量の増加が見込まれる。 ・横浜港のコンテナふ頭と道路ネットワークへのアクセス向上に併せて、コンテナターミナル近傍にロジスティクスパークの整備が進み、港内の物流施設が集約しており、流通加工機能を有する物流施設の集積により、一層の取扱貨物の増加が期待される。 ③アライアンス再編への対応 ・海運アライアンスの再編に伴い、アライアンス単位で就航する船舶や航路の最適化が行われ、寄港地の絞り込みおよび拠点港での積み替えが顕著となっている。 ・横浜港のコンテナターミナルは大黒地区・本牧地区・南本牧地区の3地区に分散し、積み替え時の横持ちコストが発生していることから、アライアンス拠点港としての利便性を高める必要がある。 ・将来的には、本牧ふ頭・南本牧ふ頭・新本牧ふ頭にコンテナ機能を集約し、大水深の連続パースの整備やコンテナターミナルの一体化を図り、アライアンス拠点港としての利用を促進する。																																														
上位計画の位置づけ	<第5次社会資本整備重点計画(令和3年5月28日閣議決定)> ・重点目標1 防砂・減災が主流となる社会の実現 1-2 切迫する地震・津波等の災害に対するリスクの低減 ・重点目標4 経済の好循環を支える基盤整備 4-1 サプライチェーン全体の強靱化・最適化 <経済財政運営と改革の基本方針2020(令和2年7月17日閣議決定)> ・感染症の拡大の影響により脆弱性が顕在化したことを踏まえ、生産拠点の集中度が高いもの等について、国内外でサプライチェーンの多元化・強靱化を進める。さらに、価値観を共有する国々との物資の融通のための経済安全保障のルールづくりを進める。道路や港湾など生産性向上等に直結する社会資本の重点的な整備に加え、航空や鉄道などの必要な輸送能力の確保を図るとともに、データ、新技術も活用した物流の効率性・安全性の向上に資する取組を加速する。グローバル・サプライチェーンの強靱化の観点から、エネルギー・鉱物資源の安定供給の確保や、企業間連携を含め海運・造船業などの海事産業の競争力強化に官民を挙げて取り組む。(第3章5.(3)) <成長戦略フォローアップ(令和3年6月18日閣議決定)> ・「ヒトを支援するAIターミナル」の実現に向け、港湾において対面や紙面で求めている確認・手続について、非接触で効率的に行えるよう、顔認証技術の導入やコンテナダメージチェックの効率化を進めるとともに、2021年4月に横浜港での本格運用を開始した新・港湾情報システム(GONPAS)の他港への展開等を進める。また、民間事業者間の港湾物流手続を電子化するプラットフォームである「サイバーポート」と輸出入・港湾関連情報処理システム(NACCS)との直接連携等を行う とともに、港湾行政手続情報や港湾施設情報の電子化を2022年度中に行う。(12(10)iii) <港湾の開発、利用及び保全並びに開発保全航路の開発に関する基本方針(令和2年3月13日告示)> ・我が国の産業と国民生活を支える海上輸送網の構築と物流空間の形成(1(1))																																														
事業の多面的な効果	■政策目標・施策目標 ・政策目標:国際競争力、広域・地域連携等の確保・強化。 ・施策目標:海上物流基盤の強化等総合的な物流体系整備の推進、安定的な国際海上輸送の確保を推進する。 ■定性的・定量的な効果 <定性的な効果> ・海上コンテナ物流機能の効率化により我が国産業の国際競争力が強化される ・貨物の陸上輸送距離の短縮により、CO2、NOx等の排出量が削減される ・世界各地を結ぶ直行便の増加により輸送のリードタイムが短縮するとともに、途中積替港における荷役作業の回避により、荷傷みリスクの低減及び輸送の定時性向上が図られることで、信頼度の高い海上コンテナ輸送網の構築が図られる。 ・横浜港全体で必要とされる施設能力を確保し、各ふ頭の荷役作業を適正化することにより、コンテナターミナル周辺の渋滞が解消される。 ・IoTや自動化など最先端の技術を活用したコンテナヤードの整備により、労働環境を改善させる。等 <定量的な効果> ・貨物取扱能力の向上により代替港を利用することによる輸送コストが削減される。 ・大型コンテナ船に対応することにより、輸送コストが削減される。 ・受入環境を向上させることにより、大型船舶が寄港するための運航コストの削減を図る。 ・耐震強化岸壁の整備により、震災時におけるコンテナ輸送機能が確保される。 ・国際フィーダー船専用パースの整備により国際フィーダー船の滞船コストが削減される。 ・アライアンス単位で利用コンテナターミナルが集約されることにより、ガントリークレーンや隣接するパースの相互融通が図られ利便性が向上するとともに、埠頭間ドレージの費用が低減される。等 ■定量的効果のうち投資効率性 ○便益の主な根拠 貨物取扱能力の向上による輸送コスト削減便益:8,240億円(令和14年予測取扱貨物量:1,252千TEU/年) 船舶の大型化による輸送コスト削減便益:46億円(令和14年予測取扱貨物量:86千TEU/年) 滞船コスト削減等便益:36億円(令和3年滞船実績対象貨物量:10千TEU/年) 大規模地震時輸送コスト削減便益:210億円 残存価値:106億円 <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">基準年度</th> <th colspan="2">令和5年度</th> <th colspan="2"></th> <th colspan="2"></th> <th colspan="2"></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>B:総便益(億円)</td> <td>8,639</td> <td>C:総費用(億円)</td> <td>3,333</td> <td>EIRR(%)</td> <td>8.7</td> <td>B-C</td> <td>5,305</td> <td>全体B/C</td> <td>2.6</td> </tr> <tr> <td>B:総便益(億円)</td> <td>8,639</td> <td>C:総費用(億円)</td> <td>2,308</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>継続B/C</td> <td>3.7</td> </tr> </tbody> </table> (感度分析) <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>事業全体のB/C</th> <th>残事業のB/C</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>需要 (-10% ~ +10%)</td> <td>2.3~2.9</td> <td>3.4~4.1</td> </tr> <tr> <td>建設費 (+10% ~ -10%)</td> <td>2.4~2.9</td> <td>3.4~4.2</td> </tr> <tr> <td>建設期間 (+10% ~ -10%)</td> <td>2.5~2.7</td> <td>3.7~3.8</td> </tr> </tbody> </table>					基準年度		令和5年度								B:総便益(億円)	8,639	C:総費用(億円)	3,333	EIRR(%)	8.7	B-C	5,305	全体B/C	2.6	B:総便益(億円)	8,639	C:総費用(億円)	2,308					継続B/C	3.7		事業全体のB/C	残事業のB/C	需要 (-10% ~ +10%)	2.3~2.9	3.4~4.1	建設費 (+10% ~ -10%)	2.4~2.9	3.4~4.2	建設期間 (+10% ~ -10%)	2.5~2.7	3.7~3.8
基準年度		令和5年度																																													
B:総便益(億円)	8,639	C:総費用(億円)	3,333	EIRR(%)	8.7	B-C	5,305	全体B/C	2.6																																						
B:総便益(億円)	8,639	C:総費用(億円)	2,308					継続B/C	3.7																																						
	事業全体のB/C	残事業のB/C																																													
需要 (-10% ~ +10%)	2.3~2.9	3.4~4.1																																													
建設費 (+10% ~ -10%)	2.4~2.9	3.4~4.2																																													
建設期間 (+10% ~ -10%)	2.5~2.7	3.7~3.8																																													
社会経済情勢等の変化	・令和3年 道路(A突堤)が供用開始 ・令和4年 岸壁BC(-16m)(耐震)のうち既存390m+新規80mの計470mが供用開始																																														
主な事業の進捗状況	総事業費3,800億円、既投資額1,018億円 令和5年度末現在 事業進捗率27%																																														
主な事業の進捗の見込み	令和13年度完了予定																																														
コスト縮減や代替案立案等の可能性																																															
対応方針	継続																																														
対応方針理由	十分な投資効果が見込まれると判断でき、港湾管理者からも早期完了を要望されているため。																																														
その他	<第三者委員会の意見・反映内容>																																														

横浜港 国際海上コンテナターミナル再編整備事業【基本ケース】
費用便益分析シート(割引前)

事業全体

費用便益分析シート(割引後)

EIRR=	8.7%	NPV=	5,305 億円
B/C=	2.6		

割引前												(億円)		
年度	施設供用期間	初期投資・更新投資	運営・維持コスト	総費用(C)	ターミナル新設による輸送コスト削減効果	海外トランシップ回避効果	船舶の大型化効果	タグボート運航コスト削減便益	ターミナル間コンテナ積持ち削減便益	滞船コスト削減便益	耐震便益	残存価値	総便益(B)	純便益(B-C)
2018														
2019		33.4		33.4										-33.4
2020		219.2		219.2										-219.2
2021		273.2		273.2										-273.2
2022		243.6		243.6										-243.6
2023		192.3		192.3										-192.3
2024		235.8		235.8										-235.8
2025		340.9		340.9										-340.9
2026		328.3		328.3										-328.3
2027		353.1	1.4	354.5										-354.5
2028		352.1	1.4	353.4		0.3	0.2					0.5		-353.0
2029		340.9	1.4	342.3		2.6	0.2	0.1	1.8			4.6		-337.6
2030		357.9	1.4	359.3		2.6	0.2	0.1	1.8			4.6		-354.6
2031		219.9	1.4	221.3		2.6	0.2	0.1	1.8			4.6		-216.6
2032	1	5.0	5.0	53.6	238.4	2.6	0.2	0.1	1.8	9.4		306.1	301.1	301.1
2033	2	5.0	5.0	53.7	238.4	2.6	0.2	0.1	1.8	9.3		306.0	301.0	301.0
2034	3	5.0	5.0	53.7	238.5	2.6	0.2	0.1	1.8	9.2		306.0	301.0	301.0
2035	4	5.0	5.0	53.7	238.5	2.6	0.2	0.1	1.8	9.1		305.9	300.9	300.9
2036	5	5.0	5.0	53.7	238.6	2.6	0.2	0.1	1.8	8.9		305.8	300.8	300.8
2037	6	5.0	5.0	107.4	477.2	2.6	0.2	0.1	1.8	17.7		606.9	601.9	601.9
2038	7	5.0	5.0	107.4	477.3	2.6	0.2	0.1	1.8	17.4		606.8	601.8	601.8
2039	8	5.0	5.0	107.4	477.4	2.6	0.2	0.1	1.8	17.2		606.7	601.7	601.7
2040	9	5.0	5.0	107.5	477.5	2.6	0.2	0.1	1.8	17.0		606.5	601.5	601.5
2041	10	5.0	5.0	107.5	477.6	2.6	0.2	0.1	1.8	16.7		606.4	601.4	601.4
2042	11	5.0	5.0	107.5	477.7	2.6	0.2	0.1	1.8	16.5		606.3	601.3	601.3
2043	12	32.7	5.0	37.7	107.5	477.8	2.6	0.2	0.1	1.8	16.3	606.2	568.5	568.5
2044	13	5.0	5.0	107.5	477.8	2.6	0.2	0.1	1.8	16.1		606.1	601.1	601.1
2045	14	5.0	5.0	107.5	477.9	2.6	0.2	0.1	1.8	15.9		606.0	601.0	601.0
2046	15	5.0	5.0	107.6	478.0	2.6	0.2	0.1	1.8	15.6		605.9	600.9	600.9
2047	16	5.0	5.0	107.6	478.1	2.6	0.2	0.1	1.8	15.4		605.7	600.7	600.7
2048	17	130.9	5.0	135.9	478.2	2.6	0.2	0.1	1.8	15.2		605.6	469.7	469.7
2049	18	5.0	5.0	107.6	478.2	2.6	0.2	0.1	1.8	15.0		605.5	600.5	600.5
2050	19	5.0	5.0	107.6	478.3	2.6	0.2	0.1	1.8	14.8		605.4	600.4	600.4
2051	20	5.0	5.0	107.6	478.4	2.6	0.2	0.1	1.8	14.6		605.3	600.3	600.3
2052	21	5.0	5.0	107.7	478.5	2.6	0.2	0.1	1.8	14.4		605.2	600.2	600.2
2053	22	5.0	5.0	107.7	478.5	2.6	0.2	0.1	1.8	14.3		605.1	600.1	600.1
2054	23	5.0	5.0	107.7	478.6	2.6	0.2	0.1	1.8	14.1		605.0	600.0	600.0
2055	24	5.0	5.0	107.7	478.7	2.6	0.2	0.1	1.8	13.9		604.9	599.9	599.9
2056	25	5.0	5.0	107.7	478.7	2.6	0.2	0.1	1.8	13.7		604.8	599.8	599.8
2057	26	5.0	5.0	107.7	478.8	2.6	0.2	0.1	1.8	13.5		604.7	599.7	599.7
2058	27	5.0	5.0	107.8	478.9	2.6	0.2	0.1	1.8	13.3		604.6	599.6	599.6
2059	28	5.0	5.0	107.8	478.9	2.6	0.2	0.1	1.8	13.1		604.5	599.5	599.5
2060	29	32.7	5.0	37.7	107.8	479.0	2.6	0.2	0.1	1.8	13.0	604.4	566.7	566.7
2061	30	5.0	5.0	107.8	479.1	2.6	0.2	0.1	1.8	12.8		604.3	599.3	599.3
2062	31	5.0	5.0	107.8	479.1	2.6	0.2	0.1	1.8	12.6		604.2	599.2	599.2
2063	32	5.0	5.0	107.8	479.2	2.6	0.2	0.1	1.8	12.5		604.1	599.1	599.1
2064	33	5.0	5.0	107.8	479.3	2.6	0.2	0.1	1.8	12.3		604.0	599.0	599.0
2065	34	130.9	5.0	135.9	479.3	2.6	0.2	0.1	1.8	12.1		604.0	468.1	468.1
2066	35	5.0	5.0	107.9	479.4	2.6	0.2	0.1	1.8	12.0		603.9	598.9	598.9
2067	36	5.0	5.0	107.9	479.4	2.6	0.2	0.1	1.8	11.8		603.8	598.8	598.8
2068	37	5.0	5.0	107.9	479.5	2.6	0.2	0.1	1.8	11.7		603.7	598.7	598.7
2069	38	5.0	5.0	107.9	479.6	2.6	0.2	0.1	1.8	11.5		603.6	598.6	598.6
2070	39	5.0	5.0	107.9	479.6	2.6	0.2	0.1	1.8	11.3		603.5	598.5	598.5
2071	40	5.0	5.0	107.9	479.7	2.6	0.2	0.1	1.8	11.2		603.5	598.5	598.5
2072	41	5.0	5.0	108.0	479.7	2.6	0.2	0.1	1.8	11.1		603.4	598.4	598.4
2073	42	5.0	5.0	108.0	479.8	2.6	0.2	0.1	1.8	10.9		603.3	598.3	598.3
2074	43	5.0	5.0	108.0	479.8	2.6	0.2	0.1	1.8	10.8		603.2	598.2	598.2
2075	44	5.0	5.0	108.0	479.9	2.6	0.2	0.1	1.8	10.6		603.1	598.1	598.1
2076	45	5.0	5.0	108.0	479.9	2.6	0.2	0.1	1.8	10.5		603.1	598.1	598.1
2077	46	32.7	5.0	37.7	108.0	480.0	2.6	0.2	0.1	1.8	10.3	603.0	565.3	565.3
2078	47	5.0	5.0	94.4	480.1	2.4		0.1	1.8	10.2		588.8	583.8	583.8
2079	48	5.0	5.0	75.0	480.1					10.0		565.2	560.2	560.2
2080	49	5.0	5.0	75.1	480.2					9.9		565.1	560.1	560.1
2081	50	5.0	5.0	75.1	480.2					9.8	1,058.3	1,623.4	1,618.4	1,618.4
合計		3,851	257	4,107	5,005	22,741	130	11	4	88	646	1,058	29,683	25,575

割引後												(億円)			
年度	施設供用期間	社会的割引率	初期投資・更新投資	運営・維持コスト	総費用(C)	ターミナル新設による輸送コスト削減効果	海外トランシップ回避効果	船舶の大型化効果	タグボート運航コスト削減便益	ターミナル間コンテナ積持ち削減便益	滞船コスト削減便益	耐震便益	残存価値	総便益(B)	純便益(B-C)
2018															
2019		1.17	39.0		39.0										-39.0
2020		1.12	245.5		245.5										-245.5
2021		1.08	295.1		295.1										-295.1
2022		1.04	253.4		253.4										-253.4
2023		1.00	192.3		192.3										-192.3
2024		0.96	226.4		226.4										-226.4
2025		0.92	313.6		313.6										-313.6
2026		0.89	292.2		292.2										-292.2
2027		0.85	300.2	1.2	301.3										-301.3
2028		0.82	288.7	1.1	289.8				0.2	0.2				0.4	-289.5
2029		0.79	269.3	1.1	270.4				2.1	0.2	0.1	1.4		3.7	-266.7
2030		0.76	272.0	1.0	273.0				2.0	0.2	0.1	1.3		3.5	-269.5
2031		0.73	160.5	1.0	161.5				1.9	0.2	0.1	1.3		3.4	-158.1
2032	1	0.70		3.5	3.5	37.6	166.9		1.8	0.2	0.1	1.2	6.6	214.3	210.8
2033	2	0.68		3.4	3.4	36.5	162.1		1.8	0.1	0.1	1.2	6.3	208.1	204.7
2034	3	0.65		3.3	3.3	34.9	155.0		1.7	0.1	0.1	1.1	6.0	198.9	195.6
2035	4	0.62		3.1	3.1	33.3	147.9		1.6	0.1	0.1	1.1	5.6	189.7	186.6
2036	5	0.60		3.0	3.0	32.2	143.2		1.6	0.1	0.1	1.1	5.4	183.5	180.5
2037	6	0.58		2.9	2.9	31.1	138.5		1.5	0.1	0.1	1.0	10.2	352.0	349.1
2038	7	0.56		2.8	2.8	30.2	133.8		1.5	0.1	0.0	1.0	9.8	339.8	337.0
2039	8	0.53		2.7	2.7	29.3	129.1		1.4	0.1	0.0	0.9	9.1	321.5	318.9
2040	9	0.51		2.6	2.6	28.4	124.4		1.3	0.1	0.0	0.9	8.6	309.3	306.8
2041	10	0.49		2.5	2.5	27.5	119.7		1.3	0.1	0.0	0.9	8.2	297.1	294.7
2042	11	0.47		2.4	2.4	26.6	115.0		1.2	0.1	0.0	0.8	7.8	285.0	282.6
2043	12	0.46	15.1	2.3	17.4	49.5	219.8		1.2	0.1	0.0	0.8	7.5	278.9	261.5
2044	13	0.44		2.2	2.2	47.3	210.3		1.1	0.1	0.0	0.8	7.1	266.7	264.5
2045	14	0.42		2.1	2.1	45.2	200.7		1.1	0.1	0.0	0.7	6.7	254.5	252.4
2046	15	0.41		2.1	2.1	44.1	196.0		1.1	0.1	0.0	0.7	6.4	248.4	246.4
2047	16	0.39		2.0	2.0	42.0	186.5		1.0	0.1	0.0	0.7	6.0	236.2	234.3
2048	17	0.38	49.8	1.											

横浜港 国際海上コンテナターミナル再編整備事業【需要-10%】
費用便益分析シート(割引前)

事業全体

(億円)														
年度	施設供用期間	初期投資・更新投資	運営・維持コスト	総費用(C)	ターミナル新設による輸送コスト削減効果	海外トランシッパ回避効果	船舶の大型化効果	タグボート運航コスト削減効果	ターミナル間コンテナ持ち帰り削減効果	滞船コスト削減効果	耐震便益	残存価値	総便益(B)	純便益(B-C)
2018														
2019		33.4		33.4										-33.4
2020		219.2		219.2										-219.2
2021		273.2		273.2										-273.2
2022		243.6		243.6										-243.6
2023		192.3		192.3										-192.3
2024		235.8		235.8										-235.8
2025		340.9		340.9										-340.9
2026		328.3		328.3										-328.3
2027		353.1	1.4	354.5										-354.5
2028		352.1	1.4	353.4	0.2	0.2							0.4	-353.0
2029		340.9	1.4	342.3	2.3	0.2	0.1	1.6					4.2	-338.1
2030		357.9	1.4	359.3	2.3	0.2	0.1	1.6					4.2	-355.1
2031		219.9	1.4	221.3	2.3	0.2	0.1	1.6					4.2	-217.1
2032	1		5.0	5.0	48.3	214.6	2.3	0.2	0.1	1.6	8.5		275.5	270.5
2033	2		5.0	5.0	48.3	214.6	2.3	0.2	0.1	1.6	8.4		275.4	270.4
2034	3		5.0	5.0	48.3	214.6	2.3	0.2	0.1	1.6	8.3		275.3	270.3
2035	4		5.0	5.0	48.3	214.7	2.3	0.2	0.1	1.6	8.2		275.3	270.3
2036	5		5.0	5.0	48.3	214.7	2.3	0.2	0.1	1.6	8.1		275.3	270.3
2037	6		5.0	5.0	96.7	429.5	2.3	0.2	0.1	1.6	15.9		546.2	541.2
2038	7		5.0	5.0	96.7	429.6	2.3	0.2	0.1	1.6	15.7		546.1	541.1
2039	8		5.0	5.0	96.7	429.7	2.3	0.2	0.1	1.6	15.5		546.0	541.0
2040	9		5.0	5.0	96.7	429.8	2.3	0.2	0.1	1.6	15.3		545.9	540.9
2041	10		5.0	5.0	96.7	429.8	2.3	0.2	0.1	1.6	15.1		545.8	540.8
2042	11		5.0	5.0	96.7	429.9	2.3	0.2	0.1	1.6	14.9		545.7	540.7
2043	12	32.7	5.0	37.7	96.8	430.0	2.3	0.2	0.1	1.6	14.7		545.6	507.8
2044	13		5.0	5.0	96.8	430.1	2.3	0.2	0.1	1.6	14.5		545.5	540.5
2045	14		5.0	5.0	96.8	430.1	2.3	0.2	0.1	1.6	14.3		545.4	540.4
2046	15		5.0	5.0	96.8	430.2	2.3	0.2	0.1	1.6	14.1		545.3	540.3
2047	16		5.0	5.0	96.8	430.3	2.3	0.2	0.1	1.6	13.9		545.2	540.2
2048	17	130.9	5.0	135.9	96.8	430.3	2.3	0.2	0.1	1.6	13.7		545.1	409.1
2049	18		5.0	5.0	96.9	430.4	2.3	0.2	0.1	1.6	13.5		545.0	540.0
2050	19		5.0	5.0	96.9	430.5	2.3	0.2	0.1	1.6	13.4		544.9	539.9
2051	20		5.0	5.0	96.9	430.5	2.3	0.2	0.1	1.6	13.2		544.8	539.8
2052	21		5.0	5.0	96.9	430.6	2.3	0.2	0.1	1.6	13.0		544.7	539.7
2053	22		5.0	5.0	96.9	430.7	2.3	0.2	0.1	1.6	12.8		544.6	539.6
2054	23		5.0	5.0	96.9	430.7	2.3	0.2	0.1	1.6	12.7		544.5	539.5
2055	24		5.0	5.0	96.9	430.8	2.3	0.2	0.1	1.6	12.5		544.4	539.4
2056	25		5.0	5.0	97.0	430.9	2.3	0.2	0.1	1.6	12.3		544.3	539.3
2057	26		5.0	5.0	97.0	430.9	2.3	0.2	0.1	1.6	12.2		544.2	539.2
2058	27		5.0	5.0	97.0	431.0	2.3	0.2	0.1	1.6	12.0		544.1	539.1
2059	28		5.0	5.0	97.0	431.0	2.3	0.2	0.1	1.6	11.8		544.1	539.1
2060	29	32.7	5.0	37.7	97.0	431.1	2.3	0.2	0.1	1.6	11.7		544.0	506.2
2061	30		5.0	5.0	97.0	431.2	2.3	0.2	0.1	1.6	11.5		543.9	538.9
2062	31		5.0	5.0	97.0	431.2	2.3	0.2	0.1	1.6	11.4		543.8	538.8
2063	32		5.0	5.0	97.1	431.3	2.3	0.2	0.1	1.6	11.2		543.7	538.7
2064	33		5.0	5.0	97.1	431.3	2.3	0.2	0.1	1.6	11.1		543.6	538.6
2065	34	130.9	5.0	135.9	97.1	431.4	2.3	0.2	0.1	1.6	10.9		543.6	407.7
2066	35		5.0	5.0	97.1	431.4	2.3	0.2	0.1	1.6	10.8		543.5	538.5
2067	36		5.0	5.0	97.1	431.5	2.3	0.2	0.1	1.6	10.6		543.4	538.4
2068	37		5.0	5.0	97.1	431.6	2.3	0.2	0.1	1.6	10.5		543.3	538.3
2069	38		5.0	5.0	97.1	431.6	2.3	0.2	0.1	1.6	10.4		543.3	538.3
2070	39		5.0	5.0	97.1	431.7	2.3	0.2	0.1	1.6	10.2		543.2	538.2
2071	40		5.0	5.0	97.1	431.7	2.3	0.2	0.1	1.6	10.1		543.1	538.1
2072	41		5.0	5.0	97.2	431.8	2.3	0.2	0.1	1.6	9.9		543.0	538.0
2073	42		5.0	5.0	97.2	431.8	2.3	0.2	0.1	1.6	9.8		543.0	538.0
2074	43		5.0	5.0	97.2	431.9	2.3	0.2	0.1	1.6	9.7		542.9	537.9
2075	44		5.0	5.0	97.2	431.9	2.3	0.2	0.1	1.6	9.5		542.8	537.8
2076	45		5.0	5.0	97.2	432.0	2.4	0.2	0.1	1.6	9.4		542.8	537.8
2077	46	32.7	5.0	37.7	97.2	432.0	2.4	0.2	0.1	1.6	9.3		542.7	505.0
2078	47		5.0	5.0	97.2	432.0	2.4	0.2	0.1	1.6	9.2		542.7	505.0
2079	48		5.0	5.0	97.2	432.1	2.4	0.2	0.1	1.6	9.0		542.7	503.7
2080	49		5.0	5.0	97.2	432.1	2.4	0.2	0.1	1.6	8.9		542.7	503.7
2081	50		5.0	5.0	97.2	432.2	2.4	0.2	0.1	1.6	8.8	952.5	1,461.0	1,456.0
合計		3,850.6	256.8	4,107.4	4,504.2	20,467.0	116.9	9.5	3.5	79.3	581.8	952.5	26,714.5	22,607.1

費用便益分析シート(割引後)

EIRR=	8.1%	NPV=	4,441 億円
B/C=	2.3		

(億円)															
年度	施設供用期間	社会的割引率	初期投資・更新投資	運営・維持コスト	総費用(C)	ターミナル新設による輸送コスト削減効果	海外トランシッパ回避効果	船舶の大型化効果	タグボート運航コスト削減効果	ターミナル間コンテナ持ち帰り削減効果	滞船コスト削減効果	耐震便益	残存価値	総便益(B)	純便益(B-C)
2018															
2019		1.17	39.0		39.0										-39.0
2020		1.12	245.5		245.5										-245.5
2021		1.08	295.1		295.1										-295.1
2022		1.04	253.4		253.4										-253.4
2023		1.00	192.3		192.3										-192.3
2024		0.96	226.4		226.4										-226.4
2025		0.92	313.6		313.6										-313.6
2026		0.89	292.2		292.2										-292.2
2027		0.85	300.2	1.2	301.3										-301.3
2028		0.82	288.7	1.1	289.8	0.2	0.2							0.4	-289.5
2029		0.79	269.3	1.1	270.4	1.8	0.2	0.1	1.3					3.3	-267.1
2030		0.76	272.0	1.0	273.0	1.8	0.1	0.1	1.2					3.2	-269.9
2031		0.73	160.5	1.0	161.5	1.7	0.1	0.1	1.2					3.0	-158.5
2032	1	0.70		3.5	3.5	33.8	150.2	1.6	0.1	0.1	1.1	5.9		192.9	189.4
2033	2	0.68		3.4	3.4	32.8	145.9	1.6	0.1	0.1	1.1	5.7		187.3	183.9
2034	3	0.65		3.3	3.3	31.4	139.5	1.5	0.1	0.1	1.0	5.4		179.0	175.8
2035	4	0.62		3.1	3.1	30.0	133.1	1.4	0.1	0.0	1.0	5.1		170.7	167.6
2036	5	0.60		3.0	3.0	29.0	128.8	1.4	0.1	0.0	1.0	4.8		165.2	162.2
2037	6	0.58		2.9	2.9	28.1	124.9	1.4	0.1	0.0	0.9	4.6		160.7	157.7
2038	7	0.56		2.8	2.8	27.2	121.6	1.3	0.1	0.0	0.9	4.4		156.2	153.2
2039	8	0.53		2.7	2.7	26.4	118.3	1.2	0.1	0.0	0.8	4.2		151.7	148.7
2040	9	0.51		2.6	2.6	25.6	115.1	1.2	0.1	0.0	0.8	4.0		147.2	144.2
2041	10	0.49		2.5	2.5	24.8	111.9	1.1	0.1	0.0	0.8	3.8		142.7	139.7
2042	11	0.47		2.4	2.4	24.0	108.7	1.1	0.1	0.0	0.7	3.6		138.2	136.2
2043	12	0.46	15.1	2.3	17.4	44.5	197.8	1.1	0.1	0.0	0.7	3.4		133.7	131.7
2044	13	0.44		2.2	2.2	42.6	189.2	1.0	0.1	0.0	0.7	3.2		129.2	127.2
2045	14	0.42		2.1	2.1	40.7	180.7	1.0	0.1	0.0	0.7	3.0		124.7	122.7
2046	15	0.41		2.1	2.1	39.7	176.4	1.0	0.1	0.0	0.7	2.8		120.2	118.2
2047	16	0.39		2.0	2.0	37.8	167.8	0.9	0.1	0.0	0.6	2.6		115.7	113.7
2048	17	0.38	49.8	1.9	51.7	36.8	163.5	0.9	0.1	0.0	0.6	2.4		111.2	109.2
2049	18	0.36		1.8	1.8	34.9	154.9	0.8	0.1	0.0	0.6	2.2		106.7	104.7
2050	19	0.35		1.8	1.8	33.9									

横浜港 国際海上コンテナターミナル再編整備事業【需要+10%】
費用便益分析シート(割引前)

事業全体

割引前													(億円)	
年度	施設供用期間	初期投資・更新投資	運営・維持コスト	総費用(C)	ターミナル新設による輸送コスト削減効果	海外トランシッパ回避効果	船舶の大型化効果	タグボート運航コスト削減効果	ターミナル間コンテナ持ち帰り削減効果	滞船コスト削減効果	耐震便益	残存価値	総便益(B)	純便益(B-C)
2018														
2019		33.4		33.4								0.0		-33.4
2020		219.2		219.2								0.0		-219.2
2021		273.2		273.2								0.0		-273.2
2022		243.6		243.6								0.0		-243.6
2023		192.3		192.3										-192.3
2024		235.8		235.8										-235.8
2025		340.9		340.9										-340.9
2026		328.3		328.3										-328.3
2027		353.1	1.4	354.5										-354.5
2028		352.1	1.4	353.4	0.3	0.2						0.5		-352.9
2029		340.9	1.4	342.3	2.9	0.2	0.1	1.9				5.1		-337.2
2030		357.9	1.4	359.3	2.9	0.2	0.1	1.9				5.1		-354.2
2031		219.9	1.4	221.3	2.9	0.2	0.1	1.9				5.1		-216.2
2032	1		5.0	5.0	59.0	262.2	2.9	0.2	0.1	1.9	10.4	336.7	331.7	0.7
2033	2		5.0	5.0	59.0	262.3	2.9	0.2	0.1	1.9	10.3	336.7	331.7	0.7
2034	3		5.0	5.0	59.0	262.3	2.9	0.2	0.1	1.9	10.1	336.6	331.6	0.7
2035	4		5.0	5.0	59.0	262.4	2.9	0.2	0.1	1.9	10.0	336.5	331.5	0.7
2036	5		5.0	5.0	59.1	262.4	2.9	0.2	0.1	1.9	9.8	336.4	331.4	0.7
2037	6		5.0	5.0	118.1	525.0	2.9	0.2	0.1	1.9	19.4	667.6	662.6	0.7
2038	7		5.0	5.0	118.2	525.1	2.9	0.2	0.1	1.9	19.2	667.5	662.5	0.7
2039	8		5.0	5.0	118.2	525.2	2.9	0.2	0.1	1.9	18.9	667.3	662.3	0.7
2040	9		5.0	5.0	118.2	525.3	2.9	0.2	0.1	1.9	18.7	667.2	662.2	0.7
2041	10		5.0	5.0	118.2	525.4	2.9	0.2	0.1	1.9	18.4	667.1	662.1	0.7
2042	11		5.0	5.0	118.2	525.4	2.9	0.2	0.1	1.9	18.2	666.9	661.9	0.7
2043	12	32.7	5.0	37.7	118.3	525.5	2.9	0.2	0.1	1.9	17.9	666.8	629.1	0.7
2044	13		5.0	5.0	118.3	525.6	2.9	0.2	0.1	1.9	17.7	666.7	661.7	0.7
2045	14		5.0	5.0	118.3	525.7	2.9	0.2	0.1	1.9	17.5	666.6	661.6	0.7
2046	15		5.0	5.0	118.3	525.8	2.9	0.2	0.1	1.9	17.2	666.4	661.4	0.7
2047	16		5.0	5.0	118.3	525.9	2.9	0.2	0.1	1.9	17.0	666.3	661.3	0.7
2048	17	130.9	5.0	135.9	118.4	526.0	2.9	0.2	0.1	1.9	16.8	666.2	530.3	0.7
2049	18		5.0	5.0	118.4	526.1	2.9	0.2	0.1	1.9	16.5	666.1	661.1	0.7
2050	19		5.0	5.0	118.4	526.1	2.9	0.2	0.1	1.9	16.3	666.0	661.0	0.7
2051	20		5.0	5.0	118.4	526.2	2.9	0.2	0.1	1.9	16.1	665.8	660.8	0.7
2052	21		5.0	5.0	118.4	526.3	2.9	0.2	0.1	1.9	15.9	665.7	660.7	0.7
2053	22		5.0	5.0	118.4	526.4	2.9	0.2	0.1	1.9	15.7	665.6	660.6	0.7
2054	23		5.0	5.0	118.5	526.5	2.9	0.2	0.1	1.9	15.5	665.5	660.5	0.7
2055	24		5.0	5.0	118.5	526.5	2.9	0.2	0.1	1.9	15.3	665.4	660.4	0.7
2056	25		5.0	5.0	118.5	526.6	2.9	0.2	0.1	1.9	15.0	665.3	660.3	0.7
2057	26		5.0	5.0	118.5	526.7	2.9	0.2	0.1	1.9	14.8	665.2	660.2	0.7
2058	27		5.0	5.0	118.5	526.8	2.9	0.2	0.1	1.9	14.7	665.1	660.1	0.7
2059	28		5.0	5.0	118.6	526.8	2.9	0.2	0.1	1.9	14.5	665.0	660.0	0.7
2060	29	32.7	5.0	37.7	118.6	526.9	2.9	0.2	0.1	1.9	14.3	664.9	627.1	0.7
2061	30		5.0	5.0	118.6	527.0	2.9	0.2	0.1	1.9	14.1	664.8	659.8	0.7
2062	31		5.0	5.0	118.6	527.1	2.9	0.2	0.1	1.9	13.9	664.7	659.7	0.7
2063	32		5.0	5.0	118.6	527.1	2.9	0.2	0.1	1.9	13.7	664.6	659.6	0.7
2064	33		5.0	5.0	118.6	527.2	2.9	0.2	0.1	1.9	13.5	664.5	659.5	0.7
2065	34	130.9	5.0	135.9	118.6	527.3	2.9	0.2	0.1	1.9	13.4	664.4	528.5	0.7
2066	35		5.0	5.0	118.7	527.3	2.9	0.2	0.1	1.9	13.2	664.3	659.3	0.7
2067	36		5.0	5.0	118.7	527.4	2.9	0.2	0.1	1.9	13.0	664.2	659.2	0.7
2068	37		5.0	5.0	118.7	527.5	2.9	0.2	0.1	1.9	12.8	664.1	659.1	0.7
2069	38		5.0	5.0	118.7	527.5	2.9	0.2	0.1	1.9	12.7	664.0	659.0	0.7
2070	39		5.0	5.0	118.7	527.6	2.9	0.2	0.1	1.9	12.5	663.9	658.9	0.7
2071	40		5.0	5.0	118.7	527.6	2.9	0.2	0.1	1.9	12.3	663.8	658.8	0.7
2072	41		5.0	5.0	118.7	527.7	2.9	0.2	0.1	1.9	12.2	663.7	658.7	0.7
2073	42		5.0	5.0	118.8	527.8	2.9	0.2	0.1	1.9	12.0	663.7	658.7	0.7
2074	43		5.0	5.0	118.8	527.8	2.9	0.2	0.1	1.9	11.8	663.6	658.6	0.7
2075	44		5.0	5.0	118.8	527.9	2.9	0.2	0.1	1.9	11.7	663.5	658.5	0.7
2076	45		5.0	5.0	118.8	527.9	2.9	0.2	0.1	1.9	11.5	663.4	658.4	0.7
2077	46	32.7	5.0	37.7	118.8	528.0	2.9	0.2	0.1	1.9	11.4	663.3	625.6	0.7
2078	47		5.0	5.0	103.8	528.1	2.6		0.1	1.9	11.2	647.7	642.7	0.7
2079	48		5.0	5.0	82.6	528.1					11.0	621.7	616.7	0.7
2080	49		5.0	5.0	82.6	528.2					10.9	621.6	616.6	0.7
2081	50		5.0	5.0	82.6	528.2					10.8	1,164.1	1,785.7	1,780.7
合計		3,850.6	256.8	4,107.4	5,505.1	25,015.3	142.9	11.9	4.5	96.9	711.0	1,164.1	32,651.5	28,544.1

費用便益分析シート(割引後)

EIRR=	9.2%	NPV=	6,169 億円
B/C=	2.9		

割引後													(億円)		
年度	施設供用期間	社会的割引率	初期投資・更新投資	運営・維持コスト	総費用(C)	ターミナル新設による輸送コスト削減効果	海外トランシッパ回避効果	船舶の大型化効果	タグボート運航コスト削減効果	ターミナル間コンテナ持ち帰り削減効果	滞船コスト削減効果	耐震便益	残存価値	総便益(B)	純便益(B-C)
2018															
2019		1.17	39.0		39.0										-39.0
2020		1.12	245.5		245.5										-245.5
2021		1.08	295.1		295.1										-295.1
2022		1.04	253.4		253.4										-253.4
2023		1.00	192.3		192.3										-192.3
2024		0.96	226.4		226.4										-226.4
2025		0.92	313.6		313.6										-313.6
2026		0.89	292.2		292.2										-292.2
2027		0.85	300.2	1.2	301.3										-301.3
2028		0.82	288.7	1.1	289.8				0.2	0.2				0.4	-289.4
2029		0.79	269.3	1.1	270.4				2.3	0.2	0.1	1.5		4.0	-266.4
2030		0.76	272.0	1.0	273.0				2.2	0.2	0.1	1.5		3.9	-269.2
2031		0.73	160.5	1.0	161.5				2.1	0.2	0.1	1.4		3.7	-157.8
2032	1	0.70		3.5	3.5	41.3	183.6		2.0	0.2	0.1	1.4	7.3	235.7	232.2
2033	2	0.68		3.4	3.4	40.1	178.4		1.9	0.2	0.1	1.3	7.0	228.9	225.5
2034	3	0.65		3.3	3.3	38.4	170.5		1.9	0.2	0.1	1.3	6.6	218.8	215.5
2035	4	0.62		3.1	3.1	36.6	162.7		1.8	0.1	0.1	1.2	6.2	208.6	205.5
2036	5	0.60		3.0	3.0	35.4	157.5		1.7	0.1	0.1	1.2	5.9	201.9	198.9
2037	6	0.58		2.9	2.9	68.5	304.5		1.7	0.1	0.1	1.1	11.3	387.2	384.3
2038	7	0.56		2.8	2.8	66.2	294.0		1.6	0.1	0.1	1.1	10.7	373.8	371.0
2039	8	0.53		2.7	2.7	62.6	278.3		1.5	0.1	0.1	1.0	10.0	353.7	351.0
2040	9	0.51		2.6	2.6	60.3	267.9		1.5	0.1	0.1	1.0	9.5	340.3	337.7
2041	10	0.49		2.5	2.5	57.9	257.4		1.4	0.1	0.0	1.0	9.0	326.9	324.4
2042	11	0.47		2.4	2.4	55.6	247.0		1.3	0.1	0.0	0.9	8.5	313.5	311.1
2043	12	0.46	15.1	2.3	17.4	54.4	241.7		1.3	0.1	0.0	0.9	8.2	306.7	289.4
2044	13	0.44		2.2	2.2	52.0	231.3		1.3	0.1	0.0	0.9	7.8	293.3	291.1
2045	14	0.42		2.1	2.1	49.7	220.8		1.2	0.1	0.0	0.8	7.3	280.0	277.9
2046	15	0.41		2.1	2.1	48.5	215.6		1.2	0.1	0.0	0.8	7.1	273.3	271.2
2047	16	0.39		2.0	2.0	46.2	205.1		1.1	0.1	0.0	0.8	6.6	259.9	257.9
2048	17	0.38	49.8	1.9	51.7	45.0	199.9		1.1</						

横浜港 国際海上コンテナターミナル再編整備事業【建設費+10%】
費用便益分析シート(割引前)

事業全体

(億円)														
割引前														
年度	施設供用期間	初期投資・更新投資	運営・維持コスト	総費用(C)	ターミナル新設による輸送コスト削減効果	海外トランシッパ回避効果	船舶の大型化効果	タグボート運航コスト削減効果	ターミナル間コンテナ積持ち削減効果	滞船コスト削減効果	耐震便益	残存価値	総便益(B)	純便益(B-C)
2018														
2019		33.4		33.4										-33.4
2020		219.2		219.2										-219.2
2021		300.5		300.5										-300.5
2022		268.0		268.0										-268.0
2023		211.5		211.5										-211.5
2024		259.4		259.4										-259.4
2025		375.0		375.0										-375.0
2026		361.2		361.2										-361.2
2027		388.4	1.5	389.9										-389.9
2028		387.3	1.5	388.8		0.3	0.2						0.5	-388.3
2029		375.0	1.5	376.5		2.6	0.2	0.1	1.8				4.6	-371.9
2030		393.7	1.5	395.2		2.6	0.2	0.1	1.8				4.6	-390.6
2031		241.9	1.5	243.4		2.6	0.2	0.1	1.8				4.6	-238.8
2032	1		5.5	5.5	53.6	238.4	2.6	0.2	0.1	1.8	9.4		306.1	300.6
2033	2		5.5	5.5	53.7	238.5	2.6	0.2	0.1	1.8	9.3		306.0	300.5
2034	3		5.5	5.5	53.7	238.5	2.6	0.2	0.1	1.8	9.2		306.0	300.5
2035	4		5.5	5.5	53.7	238.5	2.6	0.2	0.1	1.8	9.1		305.9	300.4
2036	5		5.5	5.5	53.7	238.6	2.6	0.2	0.1	1.8	8.9		305.8	300.3
2037	6		5.5	5.5	107.4	477.2	2.6	0.2	0.1	1.8	17.7		606.9	601.4
2038	7		5.5	5.5	107.4	477.3	2.6	0.2	0.1	1.8	17.4		606.8	601.3
2039	8		5.5	5.5	107.4	477.4	2.6	0.2	0.1	1.8	17.2		606.7	601.2
2040	9		5.5	5.5	107.5	477.5	2.6	0.2	0.1	1.8	17.0		606.5	601.0
2041	10		5.5	5.5	107.5	477.6	2.6	0.2	0.1	1.8	16.7		606.4	600.9
2042	11		5.5	5.5	107.5	477.7	2.6	0.2	0.1	1.8	16.5		606.3	600.8
2043	12	36.0	5.5	41.5	107.5	477.8	2.6	0.2	0.1	1.8	16.3		606.2	564.7
2044	13		5.5	5.5	107.5	477.8	2.6	0.2	0.1	1.8	16.1		606.1	600.6
2045	14		5.5	5.5	107.5	477.9	2.6	0.2	0.1	1.8	15.9		606.0	600.5
2046	15		5.5	5.5	107.6	478.0	2.6	0.2	0.1	1.8	15.6		605.9	600.4
2047	16		5.5	5.5	107.6	478.1	2.6	0.2	0.1	1.8	15.4		605.7	600.2
2048	17	144.0	5.5	149.5	107.6	478.2	2.6	0.2	0.1	1.8	15.2		605.6	456.1
2049	18		5.5	5.5	107.6	478.2	2.6	0.2	0.1	1.8	15.0		605.5	600.0
2050	19		5.5	5.5	107.6	478.3	2.6	0.2	0.1	1.8	14.8		605.4	599.9
2051	20		5.5	5.5	107.6	478.4	2.6	0.2	0.1	1.8	14.6		605.3	599.8
2052	21		5.5	5.5	107.7	478.5	2.6	0.2	0.1	1.8	14.4		605.2	599.7
2053	22		5.5	5.5	107.7	478.5	2.6	0.2	0.1	1.8	14.3		605.1	599.6
2054	23		5.5	5.5	107.7	478.6	2.6	0.2	0.1	1.8	14.1		605.0	599.5
2055	24		5.5	5.5	107.7	478.7	2.6	0.2	0.1	1.8	13.9		604.9	599.4
2056	25		5.5	5.5	107.7	478.7	2.6	0.2	0.1	1.8	13.7		604.8	599.3
2057	26		5.5	5.5	107.7	478.8	2.6	0.2	0.1	1.8	13.5		604.7	599.2
2058	27		5.5	5.5	107.8	478.9	2.6	0.2	0.1	1.8	13.3		604.6	599.1
2059	28		5.5	5.5	107.8	478.9	2.6	0.2	0.1	1.8	13.1		604.5	599.0
2060	29	36.0	5.5	41.5	107.8	479.0	2.6	0.2	0.1	1.8	13.0		604.4	562.9
2061	30		5.5	5.5	107.8	479.1	2.6	0.2	0.1	1.8	12.8		604.3	598.8
2062	31		5.5	5.5	107.8	479.1	2.6	0.2	0.1	1.8	12.6		604.2	598.7
2063	32		5.5	5.5	107.8	479.2	2.6	0.2	0.1	1.8	12.5		604.1	598.6
2064	33		5.5	5.5	107.8	479.3	2.6	0.2	0.1	1.8	12.3		604.0	598.5
2065	34	144.0	5.5	149.5	107.9	479.3	2.6	0.2	0.1	1.8	12.1		604.0	454.5
2066	35		5.5	5.5	107.9	479.4	2.6	0.2	0.1	1.8	12.0		603.9	598.4
2067	36		5.5	5.5	107.9	479.4	2.6	0.2	0.1	1.8	11.8		603.8	598.3
2068	37		5.5	5.5	107.9	479.5	2.6	0.2	0.1	1.8	11.7		603.7	598.2
2069	38		5.5	5.5	107.9	479.6	2.6	0.2	0.1	1.8	11.5		603.6	598.1
2070	39		5.5	5.5	107.9	479.6	2.6	0.2	0.1	1.8	11.3		603.5	598.0
2071	40		5.5	5.5	107.9	479.7	2.6	0.2	0.1	1.8	11.2		603.5	598.0
2072	41		5.5	5.5	108.0	479.7	2.6	0.2	0.1	1.8	11.1		603.4	597.9
2073	42		5.5	5.5	108.0	479.8	2.6	0.2	0.1	1.8	10.9		603.3	597.8
2074	43		5.5	5.5	108.0	479.8	2.6	0.2	0.1	1.8	10.8		603.2	597.7
2075	44		5.5	5.5	108.0	479.9	2.6	0.2	0.1	1.8	10.6		603.1	597.6
2076	45		5.5	5.5	108.0	479.9	2.6	0.2	0.1	1.8	10.5		603.1	597.6
2077	46	36.0	5.5	41.5	108.0	480.0	2.6	0.2	0.1	1.8	10.3		603.0	561.5
2078	47		5.5	5.5	94.4	480.1	2.4		0.1	1.8	10.2		598.8	583.3
2079	48		5.5	5.5	75.0	480.1				10.0			565.2	559.7
2080	49		5.5	5.5	75.1	480.2				9.9			565.1	559.6
2081	50		5.5	5.5	75.1	480.2				9.8	1,058.3	1,623.4	1,617.9	1,617.9
合計		4,210.38	282.50	4,492.88	5,004.62	22,741.14	129.87	10.50	4.00	88.12	646.34	1,058.3	29,682.90	25,190.02

費用便益分析シート(割引後)

EIRR=	8.2%	NPV=	5,000 億円
B/C=	2.4		

(億円)															
割引後															
年度	施設供用期間	社会的割引率	初期投資・更新投資	運営・維持コスト	総費用(C)	ターミナル新設による輸送コスト削減効果	海外トランシッパ回避効果	船舶の大型化効果	タグボート運航コスト削減効果	ターミナル間コンテナ積持ち削減効果	滞船コスト削減効果	耐震便益	残存価値	総便益(B)	純便益(B-C)
2018															
2019		1.17	39.0		39.0										-39.0
2020		1.12	245.5		245.5										-245.5
2021		1.08	324.6		324.6										-324.6
2022		1.04	278.7		278.7										-278.7
2023		1.00	211.5		211.5										-211.5
2024		0.96	249.0		249.0										-249.0
2025		0.92	345.0		345.0										-345.0
2026		0.89	321.4		321.4										-321.4
2027		0.85	330.2	1.3	331.5										-331.5
2028		0.82	317.6	1.2	318.8			0.2	0.2					0.4	-318.4
2029		0.79	296.3	1.2	297.4			2.1	0.2	0.1	1.4			3.7	-293.8
2030		0.76	299.2	1.1	300.4			2.0	0.2	0.1	1.3			3.5	-296.8
2031		0.73	176.6	1.1	177.7			1.9	0.2	0.1	1.3			3.4	-174.3
2032	1	0.70		3.9	3.9	37.6	166.9	1.8	0.2	0.1	1.2	6.6		214.3	210.4
2033	2	0.68		3.7	3.7	36.5	162.1	1.8	0.1	0.1	1.2	6.3		208.1	204.4
2034	3	0.65		3.6	3.6	34.9	155.0	1.7	0.1	0.1	1.1	6.0		198.9	195.3
2035	4	0.62		3.4	3.4	33.3	147.9	1.6	0.1	0.1	1.1	5.6		189.7	186.3
2036	5	0.60		3.3	3.3	32.2	143.2	1.6	0.1	0.1	1.1	5.4		183.5	180.2
2037	6	0.58		3.2	3.2	62.3	276.8	1.5	0.1	0.1	1.0	10.2		352.0	348.8
2038	7	0.56		3.1	3.1	60.2	267.3	1.5	0.1	0.0	1.0	9.8		339.8	336.7
2039	8	0.53		2.9	2.9	56.9	253.0	1.4	0.1	0.0	0.9	9.1		321.5	318.6
2040	9	0.51		2.8	2.8	54.8	243.5	1.3	0.1	0.0	0.9	8.6		309.3	306.5
2041	10	0.49		2.7	2.7	52.7	234.0	1.3	0.1	0.0	0.9	8.2		297.1	294.4
2042	11	0.47		2.6	2.6	50.5	224.5	1.2	0.1	0.0	0.8	7.8		285.0	282.4
2043	12	0.46	16.6	2.5	19.1	49.5	219.8	1.2	0.1	0.0	0.8	7.5		278.9	259.8
2044	13	0.44		2.4	2.4	47.3	210.3	1.1	0.1	0.0	0.8	7.1		266.7	264.3
2045	14	0.42		2.3	2.3	45.2	200.7	1.1	0.1	0.0	0.7	6.7		254.5	252.2
2046	15	0.41		2.3	2.3	44.1	196.0	1.1	0.1	0.0	0.7	6.4		248.4	246.1
2047	16	0.39		2.2	2.2	42.0	186.5	1.0	0.1	0.0	0.7	6.0		236.2	234.1
2048	17	0.38	54.7	2.1	56.8	40.9	181.7	1.0	0.1	0.0	0.7	5.8		230.1	173.3
2049	18	0.36		2.0	2.0	38.7	172.2	0.9	0.1	0.0	0.6	5.4		218.0	216

横浜港 国際海上コンテナターミナル再編整備事業【事業期間-10%】
費用便益分析シート(割引前)

事業全体

(億円)

年度	施設供用期間	割引前										純便益 (B-C)		
		初期投資・更新投資	運営・維持コスト	総費用(C)	ターミナル新設による輸送コスト削減効果	海外トランシッパ回避効果	船舶の大型化効果	タグボート運航コスト削減便益	ターミナル間コンテナ持ち帰り削減便益	滞船コスト削減便益	耐震便益		残存価値	総便益 (B)
2018														
2019		33.4		33.4										-33.4
2020		219.2		219.2										-219.2
2021		273.2		273.2										-273.2
2022		243.6		243.6										-243.6
2023		192.3		192.3										-192.3
2024		267.2		267.2										-267.2
2025		372.3		372.3										-372.3
2026		359.7	1.4	361.1										-361.1
2027		384.5	1.4	385.9			0.3	0.2				0.5		-385.4
2028		383.5	1.4	384.9			2.6	0.2	0.1	1.8		4.6		-380.2
2029		372.3	1.4	373.7			2.6	0.2	0.1	1.8		4.6		-369.1
2030		389.3	1.4	390.7			2.6	0.2	0.1	1.8		4.6		-386.0
2031	1	5.0	5.0	53.6	238.4	2.6	0.2	0.1	1.8	9.4		306.1	301.1	
2032	2	5.0	5.0	53.7	238.4	2.6	0.2	0.1	1.8	9.3		306.0	301.0	
2033	3	5.0	5.0	53.7	238.5	2.6	0.2	0.1	1.8	9.2		306.0	301.0	
2034	4	5.0	5.0	53.7	238.5	2.6	0.2	0.1	1.8	9.1		305.9	300.9	
2035	5	5.0	5.0	53.7	238.6	2.6	0.2	0.1	1.8	8.9		305.8	300.8	
2036	6	5.0	5.0	107.4	477.2	2.6	0.2	0.1	1.8	17.7		606.9	601.9	
2037	7	5.0	5.0	107.4	477.3	2.6	0.2	0.1	1.8	17.4		606.8	601.8	
2038	8	5.0	5.0	107.4	477.4	2.6	0.2	0.1	1.8	17.2		606.7	601.7	
2039	9	5.0	5.0	107.5	477.5	2.6	0.2	0.1	1.8	17.0		606.5	601.5	
2040	10	5.0	5.0	107.5	477.6	2.6	0.2	0.1	1.8	16.7		606.4	601.4	
2041	11	5.0	5.0	107.5	477.7	2.6	0.2	0.1	1.8	16.5		606.3	601.3	
2042	12	32.7	5.0	37.7	477.8	2.6	0.2	0.1	1.8	16.3		606.2	568.5	
2043	13	5.0	5.0	107.5	477.8	2.6	0.2	0.1	1.8	16.1		606.1	601.1	
2044	14	5.0	5.0	107.5	477.9	2.6	0.2	0.1	1.8	15.9		606.0	601.0	
2045	15	5.0	5.0	107.6	478.0	2.6	0.2	0.1	1.8	15.6		605.9	600.9	
2046	16	5.0	5.0	107.6	478.1	2.6	0.2	0.1	1.8	15.4		605.7	600.7	
2047	17	130.9	5.0	135.9	478.2	2.6	0.2	0.1	1.8	15.2		605.6	469.7	
2048	18	5.0	5.0	107.6	478.2	2.6	0.2	0.1	1.8	15.0		605.5	600.5	
2049	19	5.0	5.0	107.6	478.3	2.6	0.2	0.1	1.8	14.8		605.4	600.4	
2050	20	5.0	5.0	107.6	478.4	2.6	0.2	0.1	1.8	14.6		605.3	600.3	
2051	21	5.0	5.0	107.7	478.5	2.6	0.2	0.1	1.8	14.4		605.2	600.2	
2052	22	5.0	5.0	107.7	478.5	2.6	0.2	0.1	1.8	14.3		605.1	600.1	
2053	23	5.0	5.0	107.7	478.6	2.6	0.2	0.1	1.8	14.1		605.0	600.0	
2054	24	5.0	5.0	107.7	478.7	2.6	0.2	0.1	1.8	13.9		604.9	599.9	
2055	25	5.0	5.0	107.7	478.7	2.6	0.2	0.1	1.8	13.7		604.8	599.8	
2056	26	5.0	5.0	107.7	478.8	2.6	0.2	0.1	1.8	13.5		604.7	599.7	
2057	27	5.0	5.0	107.8	478.9	2.6	0.2	0.1	1.8	13.3		604.6	599.6	
2058	28	5.0	5.0	107.8	478.9	2.6	0.2	0.1	1.8	13.1		604.5	599.5	
2059	29	32.7	5.0	37.7	479.0	2.6	0.2	0.1	1.8	13.0		604.4	566.7	
2060	30	5.0	5.0	107.8	479.1	2.6	0.2	0.1	1.8	12.8		604.3	599.3	
2061	31	5.0	5.0	107.8	479.1	2.6	0.2	0.1	1.8	12.6		604.2	599.2	
2062	32	5.0	5.0	107.8	479.2	2.6	0.2	0.1	1.8	12.5		604.1	599.1	
2063	33	5.0	5.0	107.8	479.3	2.6	0.2	0.1	1.8	12.3		604.0	599.0	
2064	34	130.9	5.0	135.9	479.3	2.6	0.2	0.1	1.8	12.1		604.0	468.1	
2065	35	5.0	5.0	107.9	479.4	2.6	0.2	0.1	1.8	12.0		603.9	598.9	
2066	36	5.0	5.0	107.9	479.4	2.6	0.2	0.1	1.8	11.8		603.8	598.8	
2067	37	5.0	5.0	107.9	479.5	2.6	0.2	0.1	1.8	11.7		603.7	598.7	
2068	38	5.0	5.0	107.9	479.6	2.6	0.2	0.1	1.8	11.5		603.6	598.6	
2069	39	5.0	5.0	107.9	479.6	2.6	0.2	0.1	1.8	11.3		603.5	598.5	
2070	40	5.0	5.0	107.9	479.7	2.6	0.2	0.1	1.8	11.2		603.5	598.5	
2071	41	5.0	5.0	108.0	479.7	2.6	0.2	0.1	1.8	11.1		603.4	598.4	
2072	42	5.0	5.0	108.0	479.8	2.6	0.2	0.1	1.8	10.9		603.3	598.3	
2073	43	5.0	5.0	108.0	479.8	2.6	0.2	0.1	1.8	10.8		603.2	598.2	
2074	44	5.0	5.0	108.0	479.9	2.6	0.2	0.1	1.8	10.6		603.1	598.1	
2075	45	5.0	5.0	108.0	479.9	2.6	0.2	0.1	1.8	10.5		603.1	598.1	
2076	46	32.7	5.0	37.7	480.0	2.6	0.2	0.1	1.8	10.3		603.0	565.3	
2077	47	5.0	5.0	94.4	480.1	2.4			0.1	1.8		588.8	583.8	
2078	48	5.0	5.0	75.0	480.1					10.0		565.2	560.2	
2079	49	5.0	5.0	75.1	480.2					9.9		565.1	560.1	
2080	50	5.0	5.0	75.1	480.2					9.8	1,067.2	1,632.3	1,627.3	
合計		3,851	257	4,107	5,005	22,741	130	11	4	88	646	1,067	29,692	25,584

費用便益分析シート(割引後)

EIRR=	9.1%	NPV=	5,624 億円
B/C=	2.7		

(億円)

年度	施設供用期間	社会的割引率	割引後										純便益 (B-C)		
			初期投資・更新投資	運営・維持コスト	総費用(C)	ターミナル新設による輸送コスト削減効果	海外トランシッパ回避効果	船舶の大型化効果	タグボート運航コスト削減便益	ターミナル間コンテナ持ち帰り削減便益	滞船コスト削減便益	耐震便益		残存価値	総便益 (B)
2018															
2019		1.17	39.0		39.0									-39.0	
2020		1.12	245.5		245.5									-245.5	
2021		1.08	295.1		295.1									-295.1	
2022		1.04	253.4		253.4									-253.4	
2023		1.00	192.3		192.3									-192.3	
2024		0.96	256.5		256.5									-256.5	
2025		0.92	342.5		342.5									-342.5	
2026		0.89	320.2	1.2	321.4									-321.4	
2027		0.85	326.9	1.2	328.0				0.2	0.2			0.4	-327.6	
2028		0.82	314.5	1.1	315.6				2.1	0.2	0.1	1.4	3.8	-311.8	
2029		0.79	294.1	1.1	295.2				2.1	0.2	0.1	1.4	3.7	-291.5	
2030		0.76	295.9	1.0	296.9				2.0	0.2	0.1	1.3	3.5	-293.4	
2031	1	0.73	3.7	3.7	39.2	174.0	1.9	0.2	0.1	1.3	6.9	223.4	219.8		
2032	2	0.70	3.5	3.5	37.6	166.9	1.8	0.2	0.1	1.2	6.5	214.2	210.7		
2033	3	0.68	3.4	3.4	36.5	162.2	1.8	0.1	0.1	1.2	6.3	208.1	204.7		
2034	4	0.65	3.3	3.3	34.9	155.0	1.7	0.1	0.1	1.1	5.9	198.8	195.6		
2035	5	0.62	3.1	3.1	33.3	147.9	1.6	0.1	0.1	1.1	5.5	189.6	186.5		
2036	6	0.60	3.0	3.0	64.4	286.3	1.6	0.1	0.1	1.1	10.6	364.2	361.2		
2037	7	0.58	2.9	2.9	62.3	276.9	1.5	0.1	0.1	1.0	10.1	352.0	349.1		
2038	8	0.56	2.8	2.8	60.2	267.4	1.5	0.1	0.0	1.0	9.6	339.7	336.9		
2039	9	0.53	2.7	2.7	57.0	253.1	1.4	0.1	0.0	0.9	9.0	321.5	318.8		
2040	10	0.51	2.6	2.6	54.8	243.6	1.3	0.1	0.0	0.9	8.5	309.3	306.7		
2041	11	0.49	2.5	2.5	52.7	234.1	1.3	0.1	0.0	0.9	8.1	297.1	294.6		
2042	12	0.47	15.4	2.4	17.7	50.5	224.5	1.2	0.1	0.0	0.8	7.7	284.9	267.2	
2043	13	0.46	2.3	2.3	49.5	219.8	1.2	0.1	0.0	0.8	7.4	278.8	276.5		
2044	14	0.44	2.2	2.2	47.3	210.3	1.1	0.1	0.0	0.8	7.0	266.6	264.4		
2045	15	0.42	2.1	2.1	45.2	200.8	1.1	0.1	0.0	0.7	6.6	254.5	252.4		
2046	16	0.41	2.1	2.1	44.1	196.0	1.1	0.1	0.0	0.7	6.3	248.4	246.3		
2047	17	0.39	51.1	2.0	53.0	42.0	186.5	1.0	0.1	0.0	0.7	5.9	236.2	183.2	
2048	18	0.38	1.9	1.9	40.9	181.7	1.0	0.1	0.0	0.7	5.7	230.1	228.2		
2049	19	0.36	1.8	1.8	38.8	172.2	0.9	0.1	0.0	0.6	5.3	218.0	216.2		
2050	20	0.35	1.8	1.8	37.7	167.4	0.9	0.1	0.0	0.6	5.1	211.9	210.1		
2051	21	0.33	1.7	1.7	3										

横浜港 国際海上コンテナターミナル再編整備事業【事業期間+10%】
費用便益分析シート(割引前)

事業全体

(億円)

割引前														
年度	施設供用期間	初期投資・更新投資	運営・維持コスト	総費用(C)	ターミナル新設による輸送コスト削減効果	海外トランシップ回避効果	船舶の大型化効果	タグボート運航コスト削減効果	ターミナル間コンテナ持ち帰り削減効果	滞船コスト削減効果	耐震便益	残存価値	総便益(B)	純便益(B-C)
2018														
2019		33.4		33.4										-33.4
2020		219.2		219.2										-219.2
2021		273.2		273.2										-273.2
2022		243.6		243.6										-243.6
2023		192.3		192.3										-192.3
2024		209.6		209.6										-209.6
2025		303.0		303.0										-303.0
2026		291.8		291.8										-291.8
2027		313.9		313.9										-313.9
2028		313.0	1.4	314.3				0.2					0.2	-314.1
2029		303.0	1.4	304.4				0.2	0.1	1.8			2.0	-302.4
2030		318.1	1.4	319.5				0.2	0.1	1.8			2.0	-317.5
2031		195.5	1.4	196.8				0.2	0.1	1.8			2.1	-194.8
2032		281.0	1.4	282.4				0.2	0.1	1.8			2.1	-280.3
2033	1	5.0	5.0	53.6	238.4	2.6		0.2	0.1	1.8	9.4		306.1	301.1
2034	2	5.0	5.0	53.7	238.4	2.6		0.2	0.1	1.8	9.3		306.0	301.0
2035	3	5.0	5.0	53.7	238.5	2.6		0.2	0.1	1.8	9.2		306.0	301.0
2036	4	5.0	5.0	53.7	238.5	2.6		0.2	0.1	1.8	9.1		305.9	300.9
2037	5	5.0	5.0	53.7	238.6	2.6		0.2	0.1	1.8	8.9		305.8	300.8
2038	6	5.0	5.0	107.4	477.2	2.6		0.2	0.1	1.8	17.7		606.9	601.9
2039	7	5.0	5.0	107.4	477.3	2.6		0.2	0.1	1.8	17.4		606.8	601.8
2040	8	5.0	5.0	107.4	477.4	2.6		0.2	0.1	1.8	17.2		606.7	601.7
2041	9	5.0	5.0	107.5	477.5	2.6		0.2	0.1	1.8	17.0		606.5	601.5
2042	10	5.0	5.0	107.5	477.6	2.6		0.2	0.1	1.8	16.7		606.4	601.4
2043	11	5.0	5.0	107.5	477.7	2.6		0.2	0.1	1.8	16.5		606.3	601.3
2044	12	32.7	5.0	37.7	107.5	477.8	2.6	0.2	0.1	1.8	16.3		606.2	568.5
2045	13	5.0	5.0	107.5	477.8	2.6		0.2	0.1	1.8	16.1		606.1	601.1
2046	14	5.0	5.0	107.5	477.9	2.6		0.2	0.1	1.8	15.9		606.0	601.0
2047	15	5.0	5.0	107.6	478.0	2.6		0.2	0.1	1.8	15.6		605.9	600.9
2048	16	5.0	5.0	107.6	478.1	2.6		0.2	0.1	1.8	15.4		605.7	600.7
2049	17	130.9	5.0	135.9	107.6	478.2	2.6	0.2	0.1	1.8	15.2		605.6	469.7
2050	18	5.0	5.0	107.6	478.2	2.6		0.2	0.1	1.8	15.0		605.5	600.5
2051	19	5.0	5.0	107.6	478.3	2.6		0.2	0.1	1.8	14.8		605.4	600.4
2052	20	5.0	5.0	107.6	478.4	2.6		0.2	0.1	1.8	14.6		605.3	600.3
2053	21	5.0	5.0	107.7	478.5	2.6		0.2	0.1	1.8	14.4		605.2	600.2
2054	22	5.0	5.0	107.7	478.5	2.6		0.2	0.1	1.8	14.3		605.1	600.1
2055	23	5.0	5.0	107.7	478.6	2.6		0.2	0.1	1.8	14.1		605.0	600.0
2056	24	5.0	5.0	107.7	478.7	2.6		0.2	0.1	1.8	13.9		604.9	599.9
2057	25	5.0	5.0	107.7	478.7	2.6		0.2	0.1	1.8	13.7		604.8	599.8
2058	26	5.0	5.0	107.7	478.8	2.6		0.2	0.1	1.8	13.5		604.7	599.7
2059	27	5.0	5.0	107.8	478.9	2.6		0.2	0.1	1.8	13.3		604.6	599.6
2060	28	5.0	5.0	107.8	479.0	2.6		0.2	0.1	1.8	13.1		604.5	599.5
2061	29	32.7	5.0	37.7	107.8	479.0	2.6	0.2	0.1	1.8	13.0		604.4	566.7
2062	30	5.0	5.0	107.8	479.1	2.6		0.2	0.1	1.8	12.8		604.3	599.3
2063	31	5.0	5.0	107.8	479.1	2.6		0.2	0.1	1.8	12.6		604.2	599.2
2064	32	5.0	5.0	107.8	479.2	2.6		0.2	0.1	1.8	12.5		604.1	599.1
2065	33	5.0	5.0	107.8	479.3	2.6		0.2	0.1	1.8	12.3		604.0	599.0
2066	34	130.9	5.0	135.9	107.9	479.3	2.6	0.2	0.1	1.8	12.1		604.0	468.1
2067	35	5.0	5.0	107.9	479.4	2.6		0.2	0.1	1.8	12.0		603.9	598.9
2068	36	5.0	5.0	107.9	479.4	2.6		0.2	0.1	1.8	11.8		603.8	598.8
2069	37	5.0	5.0	107.9	479.5	2.6		0.2	0.1	1.8	11.7		603.7	598.7
2070	38	5.0	5.0	107.9	479.6	2.6		0.2	0.1	1.8	11.5		603.6	598.6
2071	39	5.0	5.0	107.9	479.6	2.6		0.2	0.1	1.8	11.3		603.5	598.5
2072	40	5.0	5.0	107.9	479.7	2.6		0.2	0.1	1.8	11.2		603.5	598.5
2073	41	5.0	5.0	108.0	479.7	2.6		0.2	0.1	1.8	11.1		603.4	598.4
2074	42	5.0	5.0	108.0	479.8	2.6		0.2	0.1	1.8	10.9		603.3	598.3
2075	43	5.0	5.0	108.0	479.8	2.6		0.2	0.1	1.8	10.8		603.2	598.2
2076	44	5.0	5.0	108.0	479.9	2.6		0.2	0.1	1.8	10.6		603.1	598.1
2077	45	5.0	5.0	108.0	479.9	2.6		0.2	0.1	1.8	10.5		603.1	598.1
2078	46	32.7	5.0	37.7	108.0	480.0	2.6		0.1	1.8	10.3		602.8	565.1
2079	47	5.0	5.0	94.4	480.1	2.4					10.2		587.0	582.0
2080	48	5.0	5.0	75.0	480.1						10.0		565.2	560.2
2081	49	5.0	5.0	75.1	480.2						9.9		565.1	560.1
2071	50	5.0	5.0	75.1	480.2						9.8	1,049.6	1,614.7	1,609.7
合計		3,851	257	4,107	5,005	22,741	122	11	4	88	646	1,050	29,666	25,559

費用便益分析シート(割引後)

EIRR=	8.4%	NPV=	5,019 億円
B/C=	2.5		

(億円)

割引後															
年度	施設供用期間	社会的割引率	初期投資・更新投資	運営・維持コスト	総費用(C)	ターミナル新設による輸送コスト削減効果	海外トランシップ回避効果	船舶の大型化効果	タグボート運航コスト削減効果	ターミナル間コンテナ持ち帰り削減効果	滞船コスト削減効果	耐震便益	残存価値	総便益(B)	純便益(B-C)
2018															
2019		1.17	39.0		39.0										-39.0
2020		1.12	245.5		245.5										-245.5
2021		1.08	295.1		295.1										-295.1
2022		1.04	253.4		253.4										-253.4
2023		1.00	192.3		192.3										-192.3
2024		0.96	201.2		201.2										-201.2
2025		0.92	278.8		278.8										-278.8
2026		0.89	259.7		259.7										-259.7
2027		0.85	266.8		266.8										-266.8
2028		0.82	256.6	1.1	257.8				0.2					0.2	-257.6
2029		0.79	239.4	1.1	240.5				0.2	0.1	1.4			1.6	-238.9
2030		0.76	241.8	1.0	242.8				0.2	0.1	1.3			1.6	-241.3
2031		0.73	142.7	1.0	143.7				0.2	0.1	1.3			1.5	-142.2
2032		0.70	196.7	1.0	197.6				0.2	0.1	1.2			1.4	-196.2
2033	1	0.68	3.4	3.4	36.5	162.1	1.8		0.1	0.1	1.2	6.4		208.2	204.8
2034	2	0.65	3.3	3.3	34.9	155.0	1.7		0.1	0.1	1.1	6.1		198.9	195.7
2035	3	0.62	3.1	3.1	33.3	147.9	1.6		0.1	0.1	1.1	5.7		189.7	186.6
2036	4	0.60	3.0	3.0	32.2	143.1	1.6		0.1	0.1	1.1	5.4		180.6	177.4
2037	5	0.58	2.9	2.9	31.1	138.4	1.5		0.1	0.1	1.0	5.2		174.5	171.5
2038	6	0.56	2.8	2.8	30.1	133.7	1.5		0.1	0.0	1.0	9.9		339.9	337.1
2039	7	0.53	2.7	2.7	28.9	129.0	1.4		0.1	0.0	0.9	9.2		321.6	319.0
2040	8	0.51	2.6	2.6	27.8	124.3	1.3		0.1	0.0	0.9	8.8		309.4	306.9
2041	9	0.49	2.5	2.5	26.7	119.6	1.3		0.1	0.0	0.9	8.3		297.2	294.8
2042	10	0.47	2.4	2.4	25.6	114.9	1.2		0.1	0.0	0.8	7.9		285.0	282.7
2043	11	0.46	2.3	2.3	24.5	110.2	1.2		0.1	0.0	0.8	7.6		272.9	270.6
2044	12	0.44	2.2	2.2	23.4	105.5	1.1		0.1	0.0	0.8	7.2		260.7	258.5
2045	13	0.42	2.1	2.1	22.3	100.8	1.1		0.1	0.0	0.7	6.8		248.8	246.6
2046	14	0.41	2.1	2.1	21.2	96.1	1.1		0.1	0.0	0.7	6.5		236.9	234.7
2047	15	0.39	2.0	2.0	20.1	91.4	1.0		0.1	0.0	0.7	6.1		225.0	222.9
2048	16	0.38	1.9	1.9	19.0	86.7	1.0		0.1	0.0	0.7	5.9		213.1	211.1
2049	17	0.36	1.8	1.8	17.9	82.0	0.9		0.1	0.0	0.6	5.5		20	

①ターミナル新設による輸送コスト削減便益

Without (整備なし)	横浜港に対象施設が整備されず、外貿コンテナ貨物の輸出入時に国内代替港が利用され、非効率な輸送が生じる。
With (整備あり)	横浜港に対象施設が整備され、外貿コンテナ貨物の輸出入時に横浜港が利用され、輸送コストが削減される。

○便益計算

項目	With時	Without時	備考
① 便益対象貨物量(千TEU/年) (実入り)	140,022	140,022	
② 陸上輸送費用(億円/年)	99.9	201.0	(代替港) 仙台塩釜港、茨城港、新潟港、千葉港、御前崎港、三河港、名古屋港
③ 海上輸送費用(億円/年)	35.9	35.3	
④ 輸送時間費用(億円/年)	430.8	436.7	
便益合計(億円/年)	106.4		

【陸上輸送費用削減便益】

項目	With時	Without時
貨物取扱量(実入り)	(TEU/年)	140,022
	(個/年)	91,897
使用台数(台/年)	91,897	91,897
陸上輸送距離(km)	8 ~ 407	14 ~ 715
陸上輸送費用原単位(円/台)	20,460 ~ 251,524	25,450 ~ 355,298
陸上輸送費用(億円/年)	99.9	201.0
陸上輸送費用削減便益(億円/年)	101.1	

【海上輸送費用削減便益】

項目	With時	Without時
貨物取扱量(実入り)	(TEU/年)	140,022
	(個/年)	91,897
船型(TEU型)	1,000 ~ 14,000	1,000 ~ 14,000
海上輸送時間(日)	2.15 ~ 11.29	1.72 ~ 11.58
海上輸送費用原単位(円/個)	15,544 ~ 56,570	13,325 ~ 53,966
海上輸送費用(億円/年)	35.9	35.3
海上輸送費用削減便益(億円/年)	-0.6	

【輸送時間費用削減便益】

項目		With時	Without時
貨物取扱量(実入り)	(TEU/年)	140,022	140,022
	(個/年)	91,897	91,897
陸上輸送距離(km)		8 ~ 407	14 ~ 715
陸上輸送時間(時間)		0.23 ~ 5.77	0.43 ~ 10.00
海上輸送時間(日)		2.15 ~ 11.29	1.72 ~ 11.58
時間費用原単位(円/時・個)		1,200 ~ 3,300	1,200 ~ 3,300
輸送時間費用(億円/年)		430.8	436.7
輸送費用削減便益(億円/年)		5.9	

②海外トランシップによる輸送コスト増大回避便益

Without (整備なし)	横浜港に対象施設が整備されない場合、一部航路の大型コンテナ船は海外港でT/Sすることで、非効率な輸送が生じる。
With (整備あり)	横浜港に対象施設が整備され、一部航路の大型コンテナ船は横浜港のダイレクト入港が可能となり、輸送コストが削減される。

○便益計算

項目		With時	Without時	備考
①	便益対象貨物量(千TEU/年)(実入り)	211,744	211,744	
②	陸上輸送費用(億円/年)	92.2	155.7	(代替港) 仙台塩釜港、茨城港、千葉港、新潟港、清水港、三河港
③	海上輸送費用(億円/年)	117.5	170.3	
④	輸送時間費用(億円/年)	1,930.5	2,287.3	
便益合計(億円/年)		473.0		

【陸上輸送費用削減便益】

項目		With時	Without時
貨物取扱量(実入り)	(TEU/年)	211,744	211,744
	(個/年)	137,010	137,010
使用台数(台/年)		137,010	137,010
陸上輸送距離(km)		8 ~ 407	14 ~ 279
陸上輸送費用原単位(円/台)		20,460 ~ 251,524	20,460 ~ 251,524
陸上輸送費用(億円/年)		92.2	155.7
陸上輸送費用削減便益(億円/年)		63.5	

【海上輸送費用削減便益】

項目		With時	Without時
貨物取扱量(実入り)	(TEU/年)	211,744	211,744
	(個/年)	137,010	137,010
船型(TEU型)		1,000 ~ 14,000	1,000 ~ 14,000
海上輸送時間(日)		22.48 ~ 26.87	26.26 ~ 29.34
海上輸送費用原単位(円/個)		67,172 ~ 119,728	95,550 ~ 159,069
海上輸送費用(億円/年)		117.5	170.3
海上輸送費用削減便益(億円/年)		52.8	

【輸送時間費用削減便益】

項目		With時	Without時
貨物取扱量(実入り)	(TEU/年)	211,744	211,744
	(個/年)	137,010	137,010
陸上輸送距離(km)		8 ~ 407	14 ~ 279
陸上輸送時間(時間)		0.23 ~ 5.77	0.43 ~ 10.00
海上輸送時間(日)		22.48 ~ 26.87	26.26 ~ 29.34
時間費用原単位(円/時・個)		1,200 ~ 3,300	1,200 ~ 3,300
輸送時間費用(億円/年)		1,930.5	2,287.3
輸送費用削減便益(億円/年)		356.8	

③船舶の大型化による輸送コスト削減便益

Without (整備なし)	対象施設(岸壁(-18m))が整備されず、より小型の船舶の入港を余儀なくされ、非効率な輸送が生じる。
With (整備あり)	対象施設(岸壁(-18m))の整備により、より大型船による大量一括輸送が可能となり、輸送コストが削減される。

○便益計算

項目		With時	Without時
貨物取扱量(実入り)	(TEU/年)	56,018	56,018
	(個/年)	36,247	36,247
利用港湾		横浜港	横浜港
海上輸送距離(シーマイル)		9,553 ~ 10,660	9,553 ~ 10,660
船型(TEU)		12,000 ~ 15,000	9,000
海上輸送費用原単位(円/個)		67,467 ~ 109,941	71,092 ~ 118,655
海上輸送費用(億円/年)		33.5	36.0
輸送コスト削減便益(億円/年)		2.6	

④貨物受入環境の向上による運航コスト削減便益

Without (整備なし)	横浜港に対象施設が整備されない場合、D4岸壁を使用する大型コンテナ船の入港時にはタグボード3隻を要する。
With (整備あり)	横浜港に対象施設が整備されD4・D5岸壁が一体運用された場合、D4岸壁を使用する大型コンテナ船はタグボード2隻で入港可能となる。

○便益計算

項目	With時	Without時
コンテナ船隻数(隻/年)	52	52
タグボード隻数(隻/回)	2	3
タグボード費用(億円/年)	0.4	0.6
タグボード運航費用削減便益(億円/年)	0.2	

⑤国際フィーダーコンテナの取扱能力向上による滞船解消便益

Without (整備なし)	横浜港に対象施設(CD岸壁)が整備されない場合、内航船の沖待ちが発生し、滞船による輸送コストが増大する。
With (整備あり)	横浜港に対象施設(CD岸壁)が整備された場合、内航船の沖待ちが解消され、滞船による輸送コストが削減される。

○便益計算

項目		With時	Without時
①	滞船費用(億円/年)	0.0	0.6
②	滞船時間費用(億円/年)	0.0	1.1
便益合計(億円/年)		1.7	

【滞船費用削減便益】

項目	With時	Without時
滞船時間(時間/年)	0	1,446
CD基部整備に帰着する滞船費用(億円/年)	0.0	0.6
タグボート運航費用削減便益(億円/年)	0.6	

【滞船時間費用削減便益】

項目		With時	Without時
貨物取扱量(実入り)(個/年)	(TEU/年)	1,990	1,990
	(個/年)	1,287	1,287
滞船時間費用原単位(円/個)		1,550 ~ 2,800	1,550 ~ 2,800
CD基部整備に帰着する滞船時間費用(億円/年)		0.0	1.1
滞船時間費用削減便益(億円/年)		1.1	

⑥ターミナル間コンテナ横持ちの短縮便益

Without (整備なし)	横浜港に対象施設(CD岸壁)が整備されない場合、内航船の沖待ちが発生し、滞船による輸送コストが増大する。
With (整備あり)	横浜港に対象施設(CD岸壁)が整備された場合、内航船の沖待ちが解消され、滞船による輸送コストが削減される。

○便益計算

項目	With時	Without時
BCとCD間の実入りコンテナ輸送量(台/年)	0	300
陸上輸送費用原単位(円/台)	17,260 ~ 26,540	17,260 ~ 26,540
陸上輸送時間費用原単位(円/時・台)	1,725 ~ 2,575	1,725 ~ 2,575
陸上輸送費用(億円/年)	0.0	0.07
陸上輸送時間費用(億円/年)	0.0	0.01
ターミナル間横持ち短縮便益(億円/年)	0.1	

⑦震災時の輸送コスト増大回避便益

Without (整備なし)	横浜港に対象施設(耐震岸壁)が整備されない場合、震災時は国内代替港が利用され、輸送コストが増大する。
With (整備あり)	横浜港に対象施設(耐震岸壁)が整備された場合、震災時も横浜港が利用され、輸送コストの増大を回避できる。

○便益計算

項目		With時	Without時	備考
①	便益対象貨物量(千TEU/年)(実入り)	1,001,775	1,001,775	
②	陸上輸送費用(億円/年)	436.8	1,581.1	(代替港) 仙台塩釜港、小名浜港、茨城港、新潟港、清水港、御前崎港、三河港、名古屋港、神戸港
③	海上輸送費用(億円/年)	368.9	367.0	
④	輸送時間費用(億円/年)	4,455.6	4,570.3	
便益合計(億円/年)		1,257.1		

【陸上輸送費用削減便益】

項目		With時	Without時
貨物取扱量(実入り)	(TEU/年)	1,001,775	1,001,775
	(個/年)	648,205	648,205
使用台数(台/年)		648,205	648,205
陸上輸送距離(km)		8 ~ 407	11 ~ 890
陸上輸送費用原単位(円/台)		20,460 ~ 251,524	25,460 ~ 400,398
陸上輸送費用(億円/年)		436.8	1,581.1
陸上輸送費用削減便益(億円/年)		1,144.3	

【海上輸送費用削減便益】

項目		With時	Without時
貨物取扱量(実入り)	(TEU/年)	1,001,775	1,001,775
	(個/年)	648,205	648,205
船型(TEU型)		1,000 ~ 14,000	1,000 ~ 14,000
海上輸送時間(日)		3.35 ~ 26.87	3.20 ~ 26.80
海上輸送費用原単位(円/個)		21,736 ~ 119,728	19,311 ~ 119,426
海上輸送費用(億円/年)		368.9	367.0
海上輸送費用削減便益(億円/年)		-1.8	

【輸送時間費用削減便益】

項目		With時	Without時
貨物取扱量(実入り)	(TEU/年)	1,001,775	1,001,775
	(個/年)	648,205	648,205
陸上輸送距離(km)		8 ~ 407	11 ~ 890
陸上輸送時間(時間)		0.23 ~ 5.77	0.32 ~ 12.47
海上輸送時間(日)		3.35 ~ 26.87	3.20 ~ 26.80
時間費用原単位(円/時・個)		1,200 ~ 3,300	1,200 ~ 3,300
輸送時間費用(億円/年)		4,455.6	4,570.3
輸送費用削減便益(億円/年)		114.7	

事業名	横浜港国際海上コンテナターミナル再編整備事業
-----	------------------------

■事業費内訳

項目	単位	数量	金額(億円)	備考
工事費				
【新本牧】				
岸壁(水深18m～)	式	1	736	
基礎・地盤改良工	m	1,000	348	
本體工	m	1,000	229	
裏込・盛石工	m	1,000	118	
上部・付帯工	m	1,000	42	
護岸	式	1	926	
基礎・地盤改良工	m	1,500	475	
本體工	m	1,500	216	
裏込工	m	1,500	228	
上部工	m	1,500	8	
防波堤	式	1	31	
基礎・地盤改良工	m	150	12	
本體工	m	150	19	
荷捌き地	式		515	
地盤改良工	式	1	166	
ヤード整備工	式	1	349	
荷役施設	式	1	144	
荷役機械、上屋	式	1	144	
道路	式	1	209	
道路整備工	km	2	196	
付帯工	式	1	13	
【本牧BC】				
岸壁(水深16m)	式	1	166	
撤去工	式	1	27	
基礎・地盤改良工	m	310	37	
本體工	m	310	85	
上部・付帯工	m	310	17	
泊地、航路・泊地	式	1	25	
浚渫工	ha	15.6ha	25	
航路	式	1	37	
浚渫工	ha	19.3ha	37	
荷さばき地	式	1	269	
地盤改良工	式	1	48	
ヤード整備工	式	1	221	
荷役施設	式	1	36	
荷役機械	式	1	36	
【本牧CD】				
岸壁(水深7.5m)	式	1	31	
本體工	m	240	15	
裏込工	m	240	12	
上部・付帯工	m	240	4	

項目	単位	数量	金額(億円)	備考
【本牧D5】				
岸壁(水深16m)	式	1	252	
本土工	m	300	242	
上部・付帯工	m	300	10	
荷さばき地	式	1	413	
地盤改良工	式	1	35	
ヤード整備工	式	1	378	
【本牧A】				
道路	式		10	
道路整備工	km	2.9	3	
付帯工	式	1	7	
合計			3,800	

※港湾請負工事積算基準及び類似事業箇所の実績より算出している。

■管理運営費等

項目	単位	数量	金額(億円)	備考
管理運営費	式	1	283	荷役機械の維持費
再投資費用	式	1	396	荷役機械の再投資費

※港湾管理者等へのヒアリングにより算出している。

■概要図



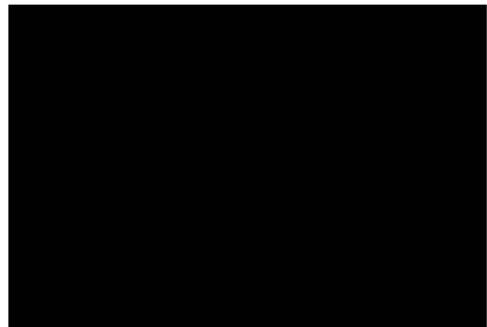
財フ第857号
令和5年7月21日

国土交通省関東地方整備局長 様

横浜市長 山中 竹春

関東地方整備局事業評価監視委員会に諮る対応方針（原案）
の作成に係る意見照会について（回答）

令和5年7月12日国関整企画第81号で照会のあった標記について、別紙のとおり回答します。



(再評価)

【港湾事業】

事業名	「対応方針(原案)」 案※	横浜市長の意見
横浜港国際海上コンテナターミナル再編整備事業	継続	<p>横浜港は国際コンテナ戦略港湾として、国際基幹航路等の維持拡大を目指して取組を進めています。</p> <p>世界的に急速に進展するコンテナ船の超大型化に対応し、基幹航路の維持・拡大を図るためには、本牧ふ頭の再編、新本牧ふ頭事業の推進が不可欠です。</p> <p>コンテナ取扱機能の強化に伴う国際競争力の確保に向け、強力に事業を推進していただきますようお願いします。</p>

※貴職の意見を踏まえ、関東地方整備局事業評価監視委員会へ諮る対応方針(原案)を作成するためのものです。